

【第 51 回セミナー受講者からの感想・ご意見】

2019 年 6 月 8 日（土曜日） 9:30～16:00

東京国際フォーラム ホール B7

■ 各論に関すること

- 非常に分かりやすい解説があり勉強になりました。（多数）
- 内科系・外科系それぞれの考え方を聞くことができとても勉強になりました。
- 外科医へのアプローチが参考になり良かったです。
- 軽症(待てるなら)だったら狭域薬を心掛けたい。重症(ショックバイタル等)だったら広域薬(カルバペネム等)を心掛けたい。

■ 事例提示に関すること

- 症例検討が豊富で大変勉強になりました。（多数）
- 事例検討の際に会場にて選択肢を選ぶか聞いてみるとおもしろいと思います。アンサーパッドなどを用いた事例・検討を行いたい。（多数）
- 事例提示での演者の先生方のコメントがとても勉強になりました。演者の先生方の実際の感染症診断のアプローチや抗菌薬選択のプロセスを示していただき実際の臨床に役立つものと思った。
- AST 活動をする中で依頼される症例に近い症例提示だったため分かりやすく今後の活動に役立てていきたいと思いました。
- 職種ごとの視点がわかるような症例ディスカッションができると良かったです。何となく医師の視点に立った内容が多かったです。

■ 今後のセミナーで希望するテーマや内容

- 耐性菌、ESBL、AST の成果、人工血管感染症、細菌の特徴、HIV、新生児感染症、真菌性肺炎、血培でのコンタミネーションの見分け方、集中治療
- 非感染症の症例多く難しかったが、実臨床では多く遭遇し鑑別の必要な分野なので今後も取り扱ってほしい。
- 3次医療機関ばかりでなく、市中病院の状況を想定したものも取り上げて欲しい。